



公明党
市川 陽子
議員

防災について

問 阪神・淡路大震災や3・11東日本大震災を教訓とし、避難所での授乳や着がえをするスペースがないことなどを訴え、防災会議の中に女性委員の登用をゼロから6名と見直しをしていた

答 総務部長 非常に重要と考え、できるだけ多くの人数を確保したいと思います。

成東駅前整備について

問 成東駅前観光交流センターの設計段階前に、市民の女性や活用する学生の声を、アンケート調査等で把握し、盛り込んでいるのか。

答 都市整備課長 特に行っていません。

問 なぜ、職員用のトイレのみと考えたのか。その後の設計の見直しはどうか。

答 都市整備課長 当初、全体面積が限ら

アを設置します。外壁及び内装は、塗装及びタイルを改修し、照明はLED照明にします。また、多目的トイレを※オストメイト対応とします。

問 交流センターへのシエルター延長についてはどうか。

答 市長 今回は、このような形でつくり、また新たに検討する問題と考えています。

健康福祉について

問 過去に肝炎ウイルス検査を行っていない方に、個別通知はどうか。

答 保健福祉部長 市の検査以外に、保健所、医療機関、献血でも実施しているため、全ての方を把握することはできない状況にあります。

問 医療機関への受診勧奨はどうか。

答 保健福祉部長 平成28年度から、重症化予防を目的に肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業を実施し、未受診者や治療中断等があれば、再度、勧奨を行っています。



公明党
本山 英子
議員

さんむ医療センターについて

問 経営においても、認知症ケア加算が追い風になるとの見方もある。認知症ケアへの現在の取り組みと今後の取り組みはどうか。

答 保健福祉部長 認知症ケア専門士を、回復期リハビリテーション病棟に、認知症サポートナースを各病棟に配置し、認知症患者への対応をしており、今後も認知症看護認定看護師の取得を目指すことのほか、認知症ケアの質の向上を目標としていきます。

問 医師会との意見交換が大変重要になると考えるが、現在、医師会との意見交換はどのように行われているか。

答 市長 これは、病院が主体的に医師会との話し合いを持って、連携を密にしていこうということが求められるということだと思います。そのように、私のほうからも理事長、院長に話をしたいと思っています。

市職員の職場環境について

問 昼食をとれるリフレッシュルーム、休憩場所、体調が悪いときに少し休める場所についての今後の改善策はどうか。

答 総務課長 現有施設を有効活用することで、休憩室を確保したいと考えています。

今後、職員組合や安全衛生委員会の意見も聞きながら、休憩室の確保に努めていきます。今年度から協議を進めていきたいと考えています。

問 分煙の喫煙場所は何力所か。

答 総務部長 本庁舎本館3階に2カ所、その他に1カ所、また教育委員会庁舎、のぎくプラザの喫煙場所は1カ所ないし2カ所設置しています。

問 副流煙が外に流れない形の分煙ルームを整備してはどうか。

答 市長 喫煙所を新たに屋外に設置する方向で考えていきます。職員については、庁舎内を禁煙とし、新たに喫煙ルームが外にできたら、そこで吸ってもらおうようにしていきたいと思っています。

※オストメイトとは：病気や障害などが原因で人工肛門や人工膀胱を保有している人のこと。